



令和6年度

**まちづくり
応援補助金**

実績報告書



1 団 体 名	NPO 法人東海つばめ学習会広島支部
2 事 業 名	市内中高生・大学生・地元企業・庄原交流会
3 事 業 費	371,180 円（うち補助金： 300,000 円,自主財源 71,180 円）
4 事 業 内 容	県立広島大学や他大学の学生による「大学ブース」と、庄原市の活動や見どころをPRする「庄原ブース」、地元企業による「企業ブース」を設け、学生、団体、企業の交流の機会を提供する。 進学や就職を考える中・高生やその保護者は学生の体験談や、就職に関する情報を得ることができ、合わせて「庄原ファンクラブ」の加入促進や「庄原の就職・観光情報」を発信し、進学や就職で地域を離れる人も将来的に庄原に住んでもらえるよう情報を提供する。 また、県内他大学の学生と、庄原市民との交流の場を設け、企業情報などのPRにより、若者を庄原市に呼び込むため、交流会を実施し、市外の学生に庄原の魅力を知ってもらう機会とする。
5 波 及 効 果	大学生のリアルな受験事情や大学生生活の体験談を聞くことで、進学先に迷っている学生に対して明確な目標を立てることができる。 地元企業や団体の代表者と学生が交流し、今後も庄原市に関わる交流人口を増やすきっかけづくりとするほか、新たな事業展開や市内企業の人材確保につながる。 さらに、市内の高校生や中学生だけでなく県立広島大学や他大学の学生に対して庄原の企業や庄原ファンクラブなどのPRができ、交流人口が増えることが期待される。
6 活 動 写 真	

みんなつながる地域交流会～市民活動報告会～

2026年3月1日（日）

NPO 法人名古屋つばめ塾

市内中高生・大学生・地元企業・
庄原交流会



流れ

1. 無料塾について
2. 本活動内容
3. 次年度の活動

昨年に名古屋つばめ塾は解散し

新しく、
「NPO法人 東海つばめ学習会」

無料塾について

- ・ 有料塾へ行きたくても行けない・・・
- ・ 勉強したくても勉強する環境がない・・・



場所を借りて、子どもたちに
無償で勉強を教えている。

NPO法人東海つばめ学習会（庄原教室）



< 対象 >
小学校1年生
～ 高校3年生

学習意欲のある子
であれば誰でも

課題

庄原市の中高生が
オープンキャンパスへ行きにくい

庄原市から市外の大学へ

> 広島大学までの道のり <
片道→約3時間
(約2500円)

> 福山大学までの道のり <
片道→約5時間
(約3000円)



課題

庄原市の中高生が
オープンキャンパスへ行きにくい



市外の大学生を庄原市へ
集めればいいじゃないか



コレクトキャンパスとは



複数の大学が集まって、大学説明会をする。







コレクトキャンパスを行った趣旨

福山大学→キャリアデザインゼミ
広島大学→起業部
福山市立→保命酒BAR、GOOHATS
広島修道大学→宮島観光親善大使

自分のしたいことをしている 大学生

コレクトキャンパスに参加して

高校三年生

・・・「第一志望への気持ちが強くなった」

高校三年生

・・・「志望大学について相談することが出来たためになった」

保護者

・・・「高校生の子どもに聞かせたかった」

高校二年生

・・・「学部しか決まっていなかったがもっと大学について調べてみようと思った」

う・まいんど(IN庄原)



課題

県立広島大学の学生も
県内の大学生も庄原のことを
あまり知らない

課題

学生が
庄原のことを知らない



庄原にいる大人との交流会が
あれば知るきっかけとなる

う・まいんどの趣旨

「島根で行われている、異業種交流会」

うまいものを食べ、
マインドを高める



- ・ 学生 × 学生
- ・ 学生 × 社会人
- ・ 社会人 × 社会人

新たな事業を
生み出すきっかけに

異業種交流会に参加して

県立広島大学学生

・・・「庄原のイベントにもっと参加したくなった」

県内大学生

・・・「自分の住んでいる場所でもイベントを開催して欲しい」

社会人

・・・「県内大学生とのつながりができ、次のイベントのきっかけになった」



高校生との相談or説明



高校生との相談or説明



高校生との相談or説明



高校生との相談or説明



1つでも多く選択肢を増やして欲しい

必要であるイベントをこれからも開催していきたい

1 団 体 名	東城みらいプロジェクト
2 事 業 名	—コドモとオトナの遊び場づくり—
3 事 業 費	875, 113 円（うち補助金：435, 000 円, 自主財源 311, 313 円、事業収入：128, 800 円）
4 事 業 内 容	
R6 年 8 月 18 日(日)TOJY0 ファミリーコンサート開催 会場：東城自治振興センター プロの演奏家や全国各地で活躍する歌のお姉さん、キャラクターによる「リトミックコンサート」、シンガーソングライター・家族相談士による「0 歳からの親子コンサート」の二部構成によるファミリーコンサートを開催。ワークショップ、キッズスペースや授乳室などを設けた。 参加者：大人 100 名子ども(中学生以下)50 名 R6 年 9 月 7 日(土) 東城保育所ありすの森「ニコニコフェスタ」 親子行事の日に、手作り楽器を使った親子でリズム遊びとふれあいベビーマッサージを行った。 参加者：乳幼児 28 名保護者 40 名 R6 年 11 月 28 日(木)東城ガールズコレクション 会場：社会福祉法人恵仁会 介護老人保健施設こぶしの里 介護施設に入所、通所中の 74～99 歳の 12 人によるファッションショー開催のサポート。演奏や音響照明、動画制作などで関わった。 参加者：出演者 12 名 入所・通所者 40 名 R7 年 1 月 24 日(金)東城小学校 PTA 講演会「命の参観日」「交流会」 会場：東城文化ホール PTA 教育講演会の開催依頼を受け実施。全校児童、保護者、関係者を招待し、講演会とミニコンサート、その夜に交流会を行った。 参加者：230 名	
5 波 及 効 果	
地域外からの来訪促進と観光誘致 ファミリーコンサートでは、庄原市や近隣市町から約 150 名の親子が来場し、東城町への新たな来訪のきっかけを創出。地域外からの集客により、町の魅力発信としての可能性が広がった。 地域内連携の強化と住民の主体的参加 町内の団体・施設・住民が協力し、町全体でイベントを盛り上げる体制が形成された。 教育・保育分野への波及 ファミリーコンサートや講演会・交流会を通じて、教育・保育施設からの問い合わせが増加。特に講演会では、「相談することの大切さ」をテーマにした内容が、家庭内の対話促進や地域コミュニティの形成に寄与。 ニコニコフェスタでは、乳幼児と保護者が安心して参加できる場を提供し、子育て支援の充実にもつながった。 今後の事業展開への足がかり 各イベントの成功が、次年度以降の企画や他団体による自主的な取り組みのモデルケースとなり、地域イベントの継続的な発展を後押し。	



1 団 体 名	東新会
2 事 業 名	まちづくりコンテンツ推進事業
3 事 業 費	1,932,529 円（うち補助金：市 627,000 円、県補助金 1,000,000 円、自主財源 55,529 円）
4 事 業 内 容	① 文化財予定建物（令和 7 年 2 月国登録有形文化財として登録）を活用する事業。 ・定期的に音楽カフェ開催、商店街でのまち歩きつまみ食いツアー、周辺でのマルシェの開催に取り組む ・地域商店等の賑わいづくりやまちづくりコンテンツ推進のために、市内外の人々と交流促進の場として建物を活用した地域の情報発信に取り組んだ。 ② 歴史的建造物を文化財としての位置づけと公開活用。 ・新たに国登録有形文化財が誕生した（令和 7 年 2 月） ・文化財登録前後に、建物の価値の向上と地域としての位置づけを確立させるために、建物関連のイベントを開催しながら公開活用に取り組んだ。また地域の文化財とも連携にも取り組んだ。 ③ 東城市街地の空き家の再生活用。 ・まちづくりの一環として、所有者や地域住民、大学生、ヘリテージマネジャー等専門家等と市内では貴重な木造 3 階建ての保存再生利活用に取り組みながら空き家再生に携わる人材の育成にも取り組んだ。
5 波 及 効 果	多様なまちづくり活動を市内外の人々と協同で実施してことで、街道東城路周辺のまちと人の営みに活力が与えられ参加者も活力を貰うことができた。また、活動を通じて地域が抱えている様々な課題も解消されていく効果がもたらされた。 空き家建物（令和 7 年 4 月複合施設としてオープン）を、新たな観光資源や交流拠点に向けて整備したことで、数年続いたコロナ禍で止まっていた様々な営みの停滞打破と地域の人々のふれあいや交流機会の増大が見込まれる。今回の様々な活動が継続的に続いていけば、地域住民や商店街に良い化学反応が起きることが期待できる。また、今回の取り組み事例で全国的な課題でもある空き家の再生利活用のモデルケースになると思われる。結果として、私たちは、まちづくり団体として、引き続き住民の社会活動や地域活動をサポートしていくことで往年の活力のあった「街道のまち」としての人の営みや商店街の活力のある姿を取り戻せると思っています。
6 活 動 写 真	     